

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2024年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第6回講義

科学技術イノベーションによる社会変革

文部科学省研究開発局原子力課長

奥 篤史氏

科学技術イノベーションは、我が国の持続的な成長や発展、地球規模の様々な課題解決に向けて重要かつ不可欠な手段となるものです。このため、産業界やアカデミアとの連携の下、政府を挙げて、多様な政策的取組を強力に推進しています。

今回は、国内外の科学技術イノベーションを取り巻く現状や課題を俯瞰するとともに、政府が策定する科学技術基本計画や、重点的に取組を進める柱とされる量子技術や健康・医療(ライフサイエンス)、原子力科学技術、さらには大型研究施設に関する研究開発などの幅広い取組について、講師自身のこれまでの経験を基に講義を行います。

また、文部科学省を就職先の一つとして考えて頂けるよう、同省の組織や主な業務内容、働き方、職場の様子、さらには採用活動などについても紹介します。

日時: 5月24日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法:

オープンホールによる対面授業

奥 篤史先生

埼玉県出身。京都大学理学部卒業。

2000年文部科学省入省。幅広い教育・科学技術行政に従事。初等中等教育局 教職員課係長や科学技術・学術政策局 計画官付計画官補佐、在英国日本国大使館一等書記官(外務省出向)、科学技術・学術政策局 政策課課長補佐、大臣官房 総務課企画官・(併)副長、科学技術・学術政策局 量子研究推進室長、大臣官房 人事課人事企画官、研究振興局 ライフサイエンス課長を経て、令和5年7月より現職。

担当:工学系教育研究センター 小崎 完教授